



十島村本土復帰60周年記念式典・おはら祭りが盛大に行われました

60周年記念トカラフォーラムのようす



【12月号の内容】

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 02～03 | 60周年記念式典・おはら祭り |
| 04～05 | 臥蛇島離島式典・奄美宿泊協定 |
| 06～07 | トカラ列島島めぐりマラソン大会 |
| 08～09 | 運動会・敬老会 |
| 10 | 水産加工調印式・Iターン紹介 |
| 11 | 農業近代化・つり革オーナー・納税 |
| 12 | 船の乗船・荷役時間及び切符販売
アイランダー、土地の寄附紹介等 |
| 13 | エリアメール開始について |
| 14～15 | 決算報告 |
| 16 | 経済センサス活動調査・運航予定表 |

十島村本土復帰 60 周年記念式典が盛大に開催されました ―



村出身者ら300名以上が参加―

11月3日に鹿児島市内のホテルで「本土復帰60周年記念式典」が開催されました。

当日は、式典に337名（内訳：来賓36名、村民139名、ふるさと会111名、役場51名）、式典後の懇親会に452名の参加をいただきました。

式典では、来賓による祝辞や功労者表彰、村の歴史を振り返るスライドショーなどが行われました。式典に引き続き、戦争体験者や前村長、金十丸の元乗組員、各島の地域づくり代表者等を交えてのフォーラムを開催し、本土復帰後の十島村の状況や現在取り組んでいる各島での地域づくり活動の状況などをお話しいただきました。また、夜の部では、来賓、島民、出身者等を交えて懇親会が開催され、島の芸能披露など大変盛り上がりしました。

島民の皆さんや出身者の皆さんがこのように一同に会する機会はそう多くありません。本土復帰後の村を振り返るとともに今後の十島村について、出身者も交えて考える良い機会になったと考えております。また、式典には国会議員や県議会議員の方々にも多数ご出席いただき、十島村の歴史や諸課題についてご理解をいただいたものと考え、次期離島振興法の改正に向けても大きなPRになったものと考えております。

この他、60周年を記念し制作した各島民の集合写真パネルを先日、各島に送付し、コミセン等に掲示していただいているところであります。また、来年2月4日の本土復帰60周年記念日に合わせて、記念植樹を予定しています。これから、各島において植える場所及び樹種の選定作業を進めていただくこととしていきます。引き続き、島民の皆さんをはじめ、関係者の皆様のご協力をお願い致します。



		記念式典	懇親会
1	来 賓	36	28
2	村 民	139	145
内 訳	口之島	29	33
	中之島	33	33
	平島	9	9
	諏訪之瀬島	9	9
	悪石島	14	15
	小宝島	9	10
	宝島	36	36
3	ふるさと会その他	111	228
4	司会者	1	1
5	役場職員	50	50
	計	337	452

第60回おはら祭り・本祭りに参加しました!!



島民ら約150名が参加―

11月3日、天文館一帯にて第60回おはら祭りの本祭りが開催されました。今回は、十島村本土復帰60周年記念ということで職員・島民・出身者等合わせて約150名が「踊り連・トカラ列島(十島村)」として初めて参加しました。また、今年はおはら祭りも第60回記念祭りということで、東京デイズニールランド・スペシャルパレード等も行われ、総勢156連、約1万4200人が参加し例年以上に盛大に開催されました。

参加者らは、当日早朝から役場会議室にて浴衣姿に着替え、早速10時40分から、おはら節や鹿児島ハンヤ節に合わせて、1時間半近く会場を踊り歩きました。島民の方々もこの日のために一生懸命練習して来ており、長時間の踊りにも関わらず、また、時折、桜島の灰が舞う中、「トカラ」のかけ声に合わせて、生き生きと踊っていました。十島村として初めて、且つ約150名と多くの関係者が参加した第60回おはら祭り。踊りに参加した方々からは「また機会があれば、ぜひ参加したい!!」との声を多くいただきました。本土復帰60周年にふさわしく、十島村を広くPRすることができました。皆さん、お疲れ様でした。

臥蛇島離島 40 周年式典が行われました!!

10月22日から23日にかけて、本土復帰60周年事業の一環として、臥蛇島離島40周年式典を行い、全国から30名が参加されました。定期船は、その下り便で、中之島から臥蛇島付近を航行し平島に寄港する特別便で運航しました。いつもと違う航路に他の乗船客にも好評でした。

手前の小臥蛇島が朝日に照らされ、臥蛇会の皆さんが、ふるさとの島「臥蛇島」を甲板からのぞき見る中、少しずつ、臥蛇島が近づいてきました。汽笛の合図で、献花や黙とうによる船上慰霊を行いました。



臥蛇島出身者らによる記念撮影(平島小中学校体育館)

写真や映像に残る離島当時の別れのように、ハンカチを振り続ける姿が印象的でした。集落跡の高台に今も残る電柱、木場立神や群青の潮流に今も変わらぬふるさとの姿を今一度焼き付けることができたのではないかと思います。

当初、海上タクシーによる臥蛇島上陸も計画していましたが、風速や波高があり中止となりました。ただし、希望者は、高速船による周遊でより近くふるさとに近づくことができました。

式典の会場となった平島では、子どもたち

による太鼓演奏の出迎えや見送りを受けました。式典後には地域住民との交歓会も行われ、平島自治会から刺身やヤギ汁・がじゃ芋の料理提供や、平島の親戚縁者との語らいや懐かしい映像に大いに盛り上がりました。

臥蛇島付近を航行する定期船の操橋からは、10月8日に設置した供養碑も確認できました。離島した多くの方々は鹿児島県内をはじめ、九州以北に移住されました。供養碑は、集落跡の上方からその北の方向に向かって設置され、ご先祖が子孫を見守るような感じ

です。人口の減少が各島で懸念されますが、地域と行政との協働により、よりよいコミュニティを形づくることが、ふるさとを持ち続ける権利だと考えます。そのことが、容易に帰ることができなくなった臥蛇会への最高の贈り物とも感じました。



奄美市内 3 箇所，鹿児島市内 1 箇所の宿泊施設と 新たに宿泊協定を締結しましたー



現在、鹿児島市内において、4 箇所の旅館、ホテル等と協定を締結している十島村宿泊協定について、今回、新たに鹿児島市内 1 箇所、奄美市内 3 箇所の宿泊施設と宿泊協定を締結しました。新たに追加された宿泊施設は次の表のとおりです。

利用方法、料金負担の内容等についてもこれまでと同様となっていますので、積極的にご利用いただきますようお願いします。

ご不明な点は役場総務課、若しくは各島出張所にお問い合わせください。

宿泊協定新規締結先				
宿泊施設名	電話番号	通常料金	宿泊料金 (シングル)	備 考
① 鹿児島グリーンゲストハウス	099-802-4301	鹿児島市住吉町	1,250 円	南埠頭近く
② ホテルビッグマリン奄美	0997-53-1321	名瀬長浜町	2,000 円	港送迎有り
③ 名瀬港湾センター 宿泊部	0997-69-3131	名瀬塩浜町	1,350 円	新港岸壁傍，食堂併設
④ 奄美セントラルホテル	0997-52-7141	名瀬入舟町	1,950 円	市街地中心部

※村税、産業資金等の公共料金に滞納がある方は宿泊費補助を受けることができません。

ウィークリーマンション白樺の**宿泊料金**が変わりましたー

これまで、宿泊協定締結先における宿泊料金の住民負担額は一律 1 泊 2,000 円に設定されていましたが、1 泊 4,000 円以下の宿泊施設については、その宿泊施設の宿泊料金の半額を住民負担とする旨、見直しが行われました。これに伴い、ウィークリーマンション白樺（シングルタイプ）の住民負担額は 2,000 円から **1,500 円**に値下げされます。

宿泊**利用券**の取り扱いについてー

平成 23 年 12 月から宿泊利用券の様式が変更されています。また、引き続き、出張所または役場で受け取れますが、受付印および日付欄への確認印が必要です。

休憩をご利用の際は、予約時に休憩の内容および負担額をお確かめください。

滞在目的によっては利用できない場合がありますので利用券を受け取る際は、滞在目的を申し出る必要があります。

第5回トカラ列島島めぐりマラソン大会が開催されました!!



10月29日、「第5回トカラ列島島めぐりマラソン大会」が開催されました。今大会は、残念ながら海象が悪く平島と小宝島での競技は行えませんでした。が、北は北海道から南は沖縄県まで118名の方に参加していただき、例年以上にアツいレースが繰り広げられました。村民からは、口之島の満園誠さ

ん、大隈翔太くん、中之島の田中秀治さん、平島の日高悠斗くん、星野樹生くんの5名が参加しました。今大会の総合1位は、栃木県在住の永井公彦さんで、第1回、第3回大会に続く優勝で、中止となった第2回、第4回を除く、開催以来連続の優勝となっています。参加者の皆さん、街頭でご声援を

いただいた皆さん、お疲れ様でした。また、宝島婦人会をはじめ、多くの皆様にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

表彰・記録

種目: 島めぐりマラソン(個人)

区分	順位	県名	氏名	記録(7島トータル)
男子	総合1位	栃木県	永井 公彦	1時間10分38秒
	2位	東京都	立石 隆也	1時間10分39秒
	3位	熊本県	福田 聖哉	1時間15分43秒
女子	1位	福岡県	堤 真弓	1時間32分49秒
	2位	茨城県	渡 由美	1時間38分01秒
	3位	鹿児島県	古江 泰子	1時間43分53秒

種目: 島めぐりマラソン(チーム)

順位	チーム人数	チーム名	記録(7島トータル)
1	4人	チーム神戸	1時間19分34秒
2	6人	日本システム&TRY	1時間26分45秒
3	3人	ユニシス	1時間32分19秒

綺麗な花嫁で賞

【デジャブチーム】有村 志保 さん

長寿賞

桐谷 光治 さん (82歳)

遠くから来てくれてありがとう賞

【北海道】 國安 融 さん

【沖縄】 渡名喜 興俊 さん

夫婦で頑張ったで賞

渡 正昭さん・由美さん ご夫妻





「トカラマラソンを振り返って」

参加者メッセージ

7つの魅力的な島々を駆け抜ける、他に類を見ない人気イベントに念願かなって初参加。人気の本質は何か。島の人たちと触れあい、何気ない交流が呼び起こす郷愁が胸を突くからか。イルカの群れが「フェリーとしま」と並走するかのようにジャンプを繰り返す光景や水平線に接するくらい低い雲やその隙間に差し込む光に奇跡を感じるからか、遠くに島影を見ながら海面を滑るように進む船のリズムと連動するマラソンの走りか。動物の咆哮にも聞こえる汽笛が腹の底に響く。最初は揺れに苦しんだが、最後は心地良かった。まずは大会を支えて頂いたスタッフや島の人たちに御礼を申し上げたい。

荷役が淡々と終わるとタラップが外され出航する。いつも繰り返される光景なのだろうが、見ていて飽きない。南の島といえば、沖縄か奄美大島だった県外者にとって、今回は、トカラ列島を「新発見」した気分だ。

港を出入りする度に、「いらっしゃい・また会いましょう」の声が聞こえてくるようだ。島全体が、私達が乗った船を家族の一員であるかのように、包み込み送り出してくれる。その機会が14回。防波堤を走って見送ってくれた子供たち、側転や前方転回を見せてくれた子供たち、太鼓で迎えてくれた子供たち。その笑顔に忘れていた何か大切なものを思い出す。だが、島の生活が分かったような顔はできない。ただの観光ランナー。手を振ってもらい、応えただけの関係。交流会が開かれた体育館でもっと話ができればよかった。伝えなかったのだ。気付いていらっしゃいますかと。トカラ列島の一つ一つの島が持つエネルギーや人を引き付ける魅力の大きさを。そして世界に誇れるユニークなマラソン大会が島の皆さんの力で支えられていることを。

身体が揺れる感覚が抜けないまま、南埠頭に降り立ち「としま」を振り返った。トカラ列島の魅力に取りつかれたファンがまた一人増えたのは間違いない。

商工中金 鹿児島支店支店長 藤波 靖夫



口之島



中之島



悪石島



諏訪之瀬島

＝平成 23 年度＝
各島で大運動会が
開催されました。



宝島



小宝島



平島（写真提供：村上修一さん）



口之島

大運動会、お疲れ様でした!!

今年も各島で秋の大運動会が盛大に行われ、各島とも地域が一体となり、白熱した競技が繰り広げられました。児童、生徒たちは、運動会当日はもちろんのこと、日頃の練習や準備等に一生懸命取り組み、応援合戦やリレー、徒競争など様々な種目で大活躍でした。

中之島では、島外からの運動会参加者に対し、中之島ふるさとづくり委員会から船運賃の助成金が支払われたこともあり、この助成金を活用し島外の親族や出身者等が約40名参加したため、地元住民と合わせて約120名が参加する非常に賑やかで活気のある大運動会となりました。

地域住民をはじめ、多くの方のご協力により、例年同様、盛大に開催された秋季大運動会。各校ともに地域の熱気や島のまとまりを強く感じる素晴らしい運動会となったようです。



小宝島



宝島



諏訪之瀬島



各島で敬老会が 開催されました。

～本年の対象者は、183名～



敬老の日、おめでとうございます――

9月19日の敬老の日を祝して、各島コミュニティセンター等で敬老会が行われました。

本年、十島村で長寿を祝う、70歳以上の方は183人。晴れて敬老の日を迎えられた方々は、長年にわたり、厳しい環境の中で、それぞれのお仕事に励み、家族や地域を支え、村の発展のためご尽力されてこられました。

会では、地元婦人会による美味しい料理や、児童生徒らによる楽しい催し物が披露されるなど、多くの住民が参加し和気あいあいとした賑やかな会となったようです。

村としても、これまで同様「お年寄りが元気に暮らせる十島」を政策目標に掲げ、高齢者福祉の充実、介護基盤整備の向上など、お年寄りの方々がいつまでも健康で、生活することのできる郷土づくりを推進していきます。

敬老の日を迎えられた皆様におかれましては、これからも健康を第一に、心豊かにそして豊かな経験と知識を生かし、家族のため、地域のため、ご活躍されますようお願い致します。





水産加工物調印式 が行われましたー

～急速凍結機を利用した水産加工物に
関する協定調印式～



通まで一貫した体制
作りを構築し、過疎
地域の新しい水産振
興を目指すものであ
ります。

平成 23 年 10 月 17 日に十島村・十
島村漁業協同組合・榑山口水産の 3
者間において、急速凍結機を利用し
た水産加工物の取り扱いに関する
協定調印式が行われました。
十島村周辺で獲れる水産資源を
どうにか活用できないかというこ
とで、検討されたのが急速凍結機で
す。急速凍結することにより、鮮度
を維持したまま、出荷できる漁業が
可能となります。
今後、飛魚をはじめ、豊かな水産
資源を活用して、生産から加工、流

ようこそ トカラへ。

【十島村新規定住者ご紹介】

ここでは、本村に I・U ターンされた方々をご紹介します。
今回は、宝島の本名さんです。

Q、最後に、何か一言お願いします。
I ターンにより定住することは、夢や理想だけでは解決できない、想
像を超える困難なこともあるのかと思います。そんな苦しさも、都市部
での会社員時代には経験のできなかった貴重な体験です。感謝をしなが
ら、家族仲良く、やっていければと思っています。

Q、これからの目標、夢を教えてください。
まずは島の生活に慣れ、島の行事を学び、島民の方々の名前を覚える
ことからはじめ、最終的には、定住のために経済的な独立をすることが
目標です。「暮らしていくことそのものが目標」と言えるので、島民・
役場・NPO や専門家の方からのアドバイスを真摯に受け止め、新しい
ことに積極的に取り組みたいと思っています。また、夢であった特産品
開発に取り組みと共に前職の経験を活かして積極的に都市部への営業
活動なども行いたいと思っています。



【宝島】

本名さん一家

本名 一竹(28 歳)

妻・祥子(28 歳)

長男・百竹(0 歳)

～平成 23 年 10 月移住～

Q、定住の決め手を教えてください。
1 年前より鹿児島島の島々への移住
を考えて、十島村を含めいくつかの候
補がありましたが、子どもの教育環
境、自然の美しさ、文化、未来像など
を総合的に考えた結果、最も希望に近
かったところが十島村でした。また、
役場の方々の親切な対応や、NPO 法
人トカラインターフェース様の支援
もあり、移住前に生活の厳しさなど苦
労すると思われるポイントが事前に
把握できたことも、決め手になったと
思っています。

十島村農業の近代化を目指して一



村では、農業の近代化を目指し、モデル事業の一環として、園芸作物の試験栽培を中之島で行っています。この事業で4月に植え付けたシウガを11月に初出荷し、10月に定植した約1haのバレイシヨ、25aのニンニクの生育も順調です。

12月までには、タンカン、天草、キンカンを定植、断根シートを敷き、根域を制限した木柱平張（病害虫防除・防風対策）栽培に取り組みます。これらの栽培試験結果をもとに7島に普及し、各島の農業振興を図っていきたく計画しています。

宝島では約30aのメークイン・赤土バレイシヨ栽培に取り組み、またサンセベリア栽培も寒害や病害虫防除対策として、ビニールハウス栽培に転換しつつあり今後が楽しみです。

（営農指導員 山下 征任）

友好島民の鈴木俊男さんがつり革オーナーをされています!!



△列車に設置されたメッセージ（写真提供：鈴木俊男さん）

友好島民の鈴木俊男さん（山形県在住）が、山形鉄道フラワー長井線の「つり革オーナー」として十島村友好島民募集を広く宣伝し、応援していただいています。この「つり革オーナー制度」は、フラワー長井線車内のつり革にメッセージを書き込んだケースを設置し、1年間オーナーになってもらう制度で、鈴木さんは、この「つり革オーナー」をはじめ3年になるそうです。鈴木さん、ありがとうございます。これからもトカラの応援、宜しく願います。

（平成23年度 10月末現在）

介護保険料	国民健康保険税	水道使用料	軽自動車税	固定資産税	村県民税
64 千円	576 千円	114 千円	120 千円	1,457 千円	1,647 千円

**村税等各種料金の
100%収納完了に
ご理解とご協力をお願いします。**

納税はお済みですか！

本村において、貴重な自主財源である村税等各種料金の滞納金や、義務を果たさず、権利だけを主張する滞納者を放置しておくことは、村財政に悪影響を及ぼすだけでなく、納期限内に納付し、遅延無く納税義務を果たされた大多数の皆さんに対して公平性を欠くこととなります。

その対策として村では村税等各種料金において滞納がある場合、村が単独で交付、支給する一部の補助金、貸付金、及び貸金等の支給において停止、制限することとしています。滞納税等のある方は、早急且つ確実に納入していただきますよう宜しくお願い致します。

交流人口の増加を目指してー

＝アイランダー2011＝

11月26・27日、「島の祭典・アイランダー2011」が、東京池袋のサンシャインシティ文化ホールで開催されました。今年で19回目を数える「アイランダー」。2日間を通して約1万9千人が訪れた会場で各島のPRはもちろんのこと、特産品販売やアンケート調査など積極的にアピールを行いました。

アンケート調査では約180名の来場者に回答していただき、本村に対するイメージや交流人口増加に向けたアドバイスなど、貴重なご意見を聞くことができました。これらの意見を参考に今後の観光振興、交流人口増加に繋げていきたいと考えています。



△会場の様子

十島村に「土地」の寄附をいただきましたー



△寄附をいただいた土地周辺の様子（宝島）

東京都在住の大久保清さんより、村に対し、土地を寄附していただきました。

寄附していただいた土地は、宝島の土地25筆で、寄附していただいた土地の一部は、来年3月完成見込の介護施設の建設用地として有効活用させていただきます。また、寄附のあった残りの土地についても、就農希望者への賃貸借用地としての使用を検討しています。

大久保さん、ありがとうございます。十島村及び宝島の発展のため有効的に活用させていただきます。

フェリーとしまから大切なお知らせですー

①乗船券販売

出港当日 9時00分～17時00分
19時00分～23時30分
で販売します。

②貨物受付

出港当日 9時00分～17時00分
まで受け付けます。

③自動車航送

出港当日 （無人車の場合）
9時00分～17時00分
（有人車の場合）
9時00分～17時00分
19時00分～21時00分

※12時00分～13時00分の時間帯も受け付けております。

1. 鹿児島港における旅客・貨物・自動車航送などの受付時間にかかるご案内

乗船券販売・貨物・自動車航送受付につきましては、次のとおりとなっております。

2. 鹿児島港における乗船開始時間にかかるご案内

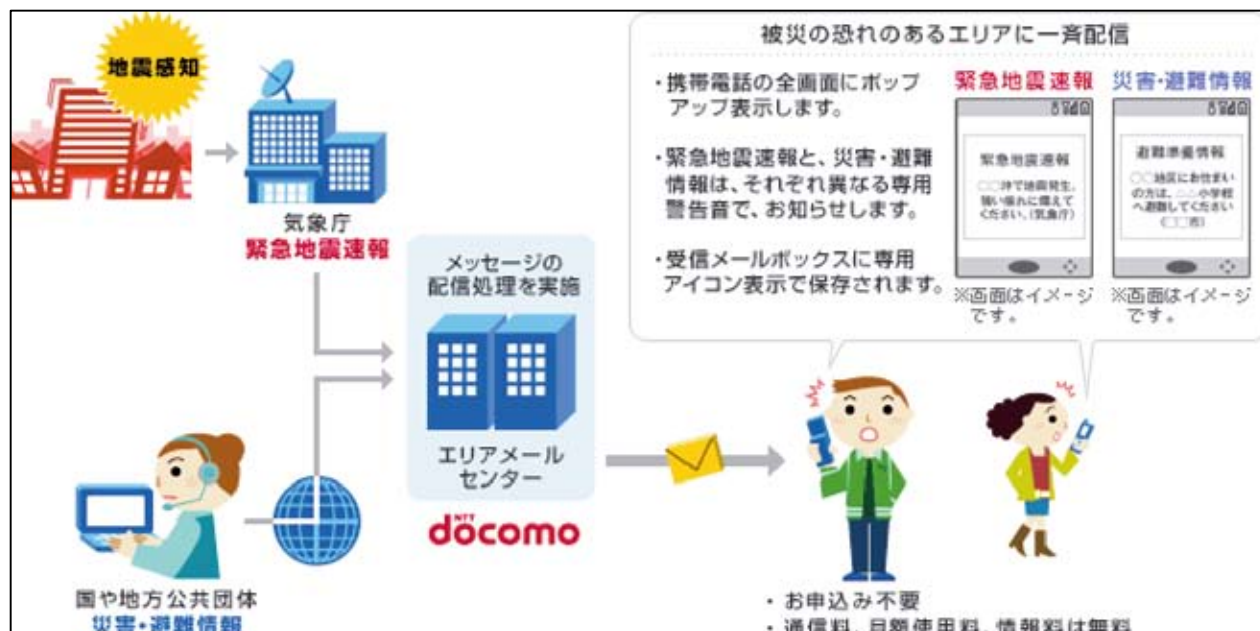
乗船開始は、原則22時00分からでございます。ただし、障害者および高齢者の方々等からの申し出があった場合には、事前乗船を許可しておりますので窓口に申し出てください。

※鹿児島港での入出港が重複する日は、清掃等の都合により乗船開始が遅れることもあります。

【防災情報の配信が始まります!!】

● 12月からNTTドコモの新機種携帯へ「エリアメール」が届きます。

エリアメールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信することができます。対象エリアにいるお客様は、月額使用料のほか通信料や情報料も含め一切無料でご利用できます。※お申込みは不要です。



● 携帯電話のエリアメール設定について

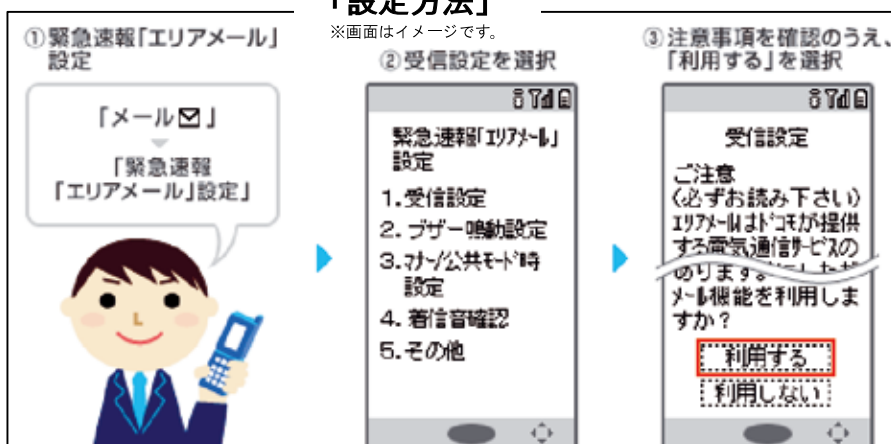
一部の対応機種をご利用のお客様は、あらかじめ携帯電話のエリアメール設定から受信設定が必要です。※お申込みは不要です。

「事前に受信設定が必要な対応機種」

906i/905i/706i シリーズ (NM706i、L706ie、SH706ie を除く)、N705i、P705i、N705iμ、P705iμ、SO705i、PROSOLIDμ、らくらくホン V、らくらくホン プレミアム

「設定方法」

※画面はイメージです。



【注意事項】

- ・ エリアメールサービスはエリアメール対応携帯電話のみご利用いただけます。
- ・ 通話中、iモードなどのパケット通信中及びその他の通信中並びに電波状態が悪い場所ではエリアメールを受信することができません。
- ・ エリアメールはiモードサービスのご契約や受信のお申込みをすることなくご利用いただけます。
- ・ エリアメールの受信は通信料無料です。
- ・ エリアメールを受信できなかった場合、再受信はできません。

【問い合わせ先】 十島村役場 総務課 企画消防係 TEL 099-222-2101

【エリアメール詳細については…】 ドコモショップ 法人営業部 TEL099-805-7535 (代表)

平成 22 年度 決算報告

歳入 46 億 6,928 万円

歳出 44 億 5,552 万円



村の平成22年度決算については、地方自治法に基づき、村監査を経て、議会で認定されました。

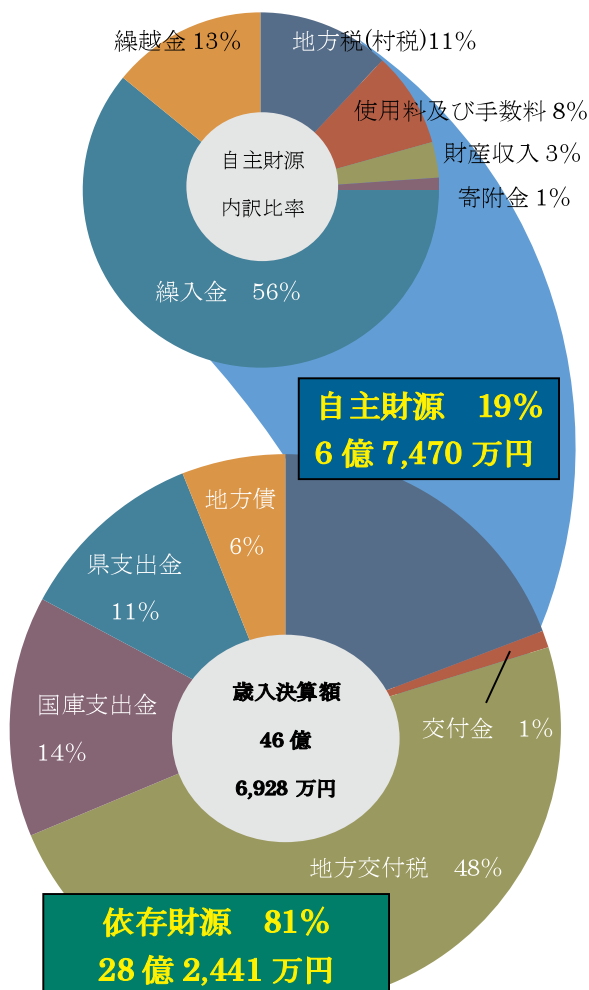
特別会計も含めた全体では、歳入総額は46億6,928万6,359円で前年度比6億714万3,617円の減、歳出総額は44億5,552万8,057円で前年度比7億1,504万2,270円の減となっていますが、歳入歳出差引総額は2億1,375万8,302円で前年度比1億7,89万8,653円の増となっています。

平成22年度の一般会計決算額は、歳入総額34億9,912万8,022円、歳出総額33億1,587万3,733円、歳入歳出差引額1億8,324万7,069円で、これから翌年度（平成23年度）の事業に繰越すべき財源1億1,543万4千円を差し引いた実質収支額は678万1,306円99円となっています。

一般会計の平成22年度決算は、補助港湾建設費の減少、及びH21地域インフラネット基盤施設整備事業の完成による事業費の皆減の影響で、前年度に比較して歳入で7億2,916万2,773円の減、歳出で7億9,802万9,096円の減と大幅に減少しています。

▽ 歳入決算額内訳、対前年度比

	費 目	決算額 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
自主財源	地 方 税	76,570	-2,636	-3.4
	分担金及び負担金	1,997	832	41.7
	使用料及び手数料	54,801	-3,393	-6.2
	財 産 収 入	19,243	153	0.8
	寄 附 金	996	-1,201	-120.6
	繰 入 金	378,548	127,029	33.6
	繰 越 金	84,381	12,012	14.2
	諸 収 入	58,173	45,210	77.7
	(自 主 財 源)	674,709	178,006	26.4
依存財源	地 方 譲 与 税 等	25,599	-183	-0.7
	地方消費税交付金	4,824	-10	-0.2
	自動車取得税交付金	3,721	-559	-15.0
	地方特例交付金	4,038	2,107	52.2
	地 方 交 付 税	1,685,642	45,008	2.7
	国 庫 支 出 金	484,304	-698,219	-144.2
	県 支 出 金	397,084	-493	-0.1
	地 方 債	219,200	-254,900	-116.3
	(依 存 財 源 計)	2,824,412	-907,169	-32.1
合 計		3,499,121	-729,163	-20.8



△歳入決算額内訳比率（一般会計全体、及び自主財源）

【一般会計歳入】
歳入の減少は、国庫支出金6億9,211万9千円の減及び地方債2億5,490万円の減が大きく影響しています。
自主財源は前年度比1億7,800万6千円の増となっており、これは繰上償還のために3億円の減債基金を繰り入れたことが影響しています。
依存財源は前年度比9億7,169千円の減となっており、これは国庫支出金の普通建設事業費支出金が6億3,300万円の減、辺地債で1億5,930万円の減、及び一般公共事業債で9,290万円の減が影響しています。

▽性質別歳出決算額（対前年度比）（単位：千円）

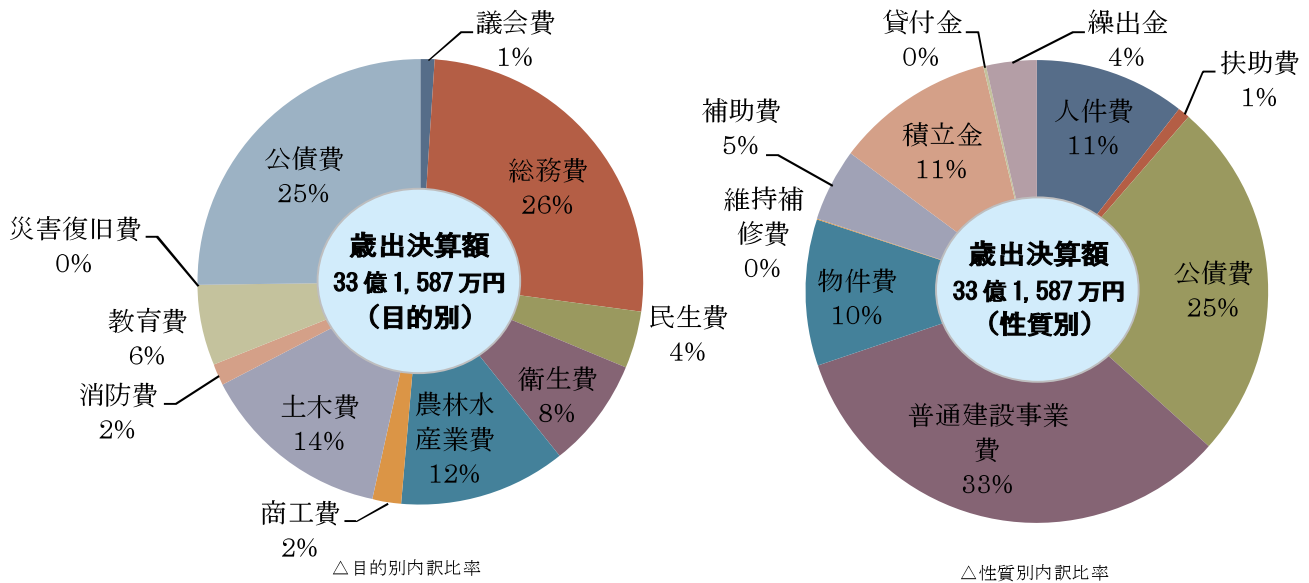
区分	費目	歳出決算額	前年 増減額
		22年度	
義務的経費	人件費	349,393	△13,598
	扶助費	28,927	6,791
	公債費（元金）	750,039	154,331
	公債費（利子）	86,367	△10,258
	【義務的経費計】	1,214,726	137,266
投資的経費	普通建設事業費（補助）	484,630	△861,439
	普通建設事業費（県営）	18,375	△120
	普通建設事業費（単独）	597,292	△83,899
	災害復旧事業費（単独）	0	△787
	【投資的経費計】	1,100,297	△946,245
その他の経費	物件費	338,810	15,255
	維持補修費	3,077	△12,144
	補助費等	167,081	66,890
	積立金	369,037	△12,122
	貸付金	5,650	5,650
	繰出金	117,196	△52,579
	【その他の経費計】	1,000,851	10,950
合 計		3,315,874	△798,029

【一般会計歳出】

歳出の減少は、投資的経費の普通建設事業費（補助）が一番大きな要因であることがわかりますが、これは、平成21年度に地域インターネット基盤施設整備事業が完了したことによる4億9652万3千円の減、補助港湾建設事業が翌年度繰越事業となったことなどによる5億7645万8千円の減が影響しています。

義務的経費が増加しているのは、公債費（元金）が一番大きな要因ですが、これは、将来償還すべき公債費を3億円繰上償還したことによるものです。目的別にみてもこれらの事業費の増減に起因して地域インターネット基盤施設整備事業の影響を受けた総務費で前年度比5億5258万3千円の減、補助港湾建設事業の影響を受けた土木費で前年度比6億7117万2千円の減となっています。

【歳出決算額内訳比率】



▽各特別会計の決算状況

単位：円

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	109,841,199	98,809,417	11,031,782
老人保健医療特別会計	3,285	3,285	0
船舶交通特別会計	906,017,144	893,748,776	12,268,368
介護保険特別会計（事業勘定）	82,816,929	75,673,002	7,143,927
〃（サービス勘定）	688,691	688,691	0
簡易水道特別会計	63,224,938	63,224,938	0
後期高齢者医療特別会計	7,573,378	7,506,215	67,156

▽近年の歳入歳出状況

単位：千円

項目	H20	H21	H22	前年度比較
歳入総額	4,138,280	4,228,284	3,499,121	-729,163
歳出総額	4,036,911	4,113,903	3,315,874	-798,029
翌年度繰越	43,663	54,491	115,434	60,943
実質収支	57,706	59,891	67,813	7,922

※実質収支＝（歳入総額－歳出総額）－翌年度繰越

村営定期船

フェリーとしま

平成 23 年 1 月予定

鹿児島



十島村

十島村航路対策室

TEL 099-222-2101

フェリーとしま

TEL 090-3022-4523

名瀬



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
予				出		入		入	出		入		出		入	出		入		出		入	出		入		出		入	出	
定																															
便				名瀬便 / 佐		宝島便 / 碓泊			宝島便 / 碓泊				名瀬便 / 新			宝島便 / 碓泊				名瀬便 / 新			宝島便 / 碓泊				名瀬便 / 新			宝島便 / 碓泊	
区																															
分																															

平成 24 年 1 月末から 3 月まで「経済センサス活動調査」が行われます！

- ・調査期日 平成 24 年 2 月 1 日現在
- ・調査対象 民宿や売店、郵便局、個人や団体で経済活動を行っている方々全てが対象となります。
- ・調査事項 経営組織、事業所の開設時期、従業者数、事業内容、売上及び費用の金額、事業別売上金額などを記入していただきます。
- ・調査方法 各事業所に配布された調査票に必要事項を直接記入していただき、役場経済課宛て送付していただきます。

・法的根拠及び注意点 「統計法」（平成 19 年法律第 53 号）に基づく。また、同法では、**基幹統計調査を受ける人には報告の義務を、調査を実施する関係者には調査によって知った情報を他に漏らしてはならない義務を規定しています。**さらに、これらに反したときには罰則が定められています。

尚、調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的外（税の資料など）に使用することはありません。

経済センサス・・・日本の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の状況を明らかにすることを目的とした統計調査

村の人口・世帯数

平成 23 年 11 月末現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	55	60	115	80
中之島	72	62	134	87
平島	36	29	65	39
諏訪之瀬島	34	24	58	31
悪石島	28	31	59	34
小宝島	31	31	62	33
宝島	62	54	116	70
合計	318	291	609	374

編集／発行…十島村総務課広報係
〒892-0822 鹿児島市泉町 14-15

平成 23 年 12 月 4 日から 10 日まで「人権週間」です。

人権週間とは、昭和 23 年 12 月 10 日に世界における自由と正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の標準として、国連総会において「世界人権宣言」が採択されましたことを記念して定められたもので、今年で 63 周年を迎えます。全国各地で人権に関する各種の啓発活動が実施されます。

鹿児島県でも、この期間中、テレビ、ラジオ等による啓発など様々な人権啓発活動が集中的に実施されます。

この機会に、皆さんも身近なところから、人権について考えてみませんか。

【問い合わせ先】 鹿児島県庁 人権同和对策課 電話 099-286-2574

<http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/jinken/index.html>